

日に決りました。

保護区内に入ると雨が強めに降ってきたので、少し登ったところにある巨木の下で雨宿り。木の下に座って耳を澄ましていると、そこかしこからトリの鳴き声が聞こえてきます。そのうちソウシチョウがすぐ近くに寄ってきて、きれいな姿を披露してくれました。

しばらくすると雨も止んできたので引き上げました。雨の探鳥会も良いもんです。私は整備のために保護区に入ることは多いのですが、普段は急な山を登って登りやすい道を見つけることに精一杯です。保護区にも多くのトリが棲んでいることに改めて気付かされました。

急峻で歩きにくい小鷲頭保護区ですが、皆さんも一度来ませんか。素晴らしい景色を紹

介しますよ。4月25日に沼津アルプス多比口峠付近で、登山者が滑落して県防災ヘリで救助されました。保護区に来るときは万全な装備、とりわけしっかりとした足ごしらえでお願いします。

担当者：加藤 副担当：高嶋

参加者：7名（会員5名・非会員2名）

観察種：コシアカツバメ、トビ、コジュケイ、コゲラ、ツバメ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ウグイス、ガビチョウ、スズメ、カワウ、イソヒヨドリ、ヒヨドリ、キジバト、キビタキ、ホオジロ、アオジ、オオルリ、ヤブサメ、リュウキュウサンショウクイ、ヤマガラ、ソウシチョウ、トラツグミ、ハクセキレイ、ヤマドリ 全25種類

生き物たちの聖域を考える

野鳥は私の道楽仲間にしな

い 複雑に展開する開発

◎カラスは地球の仲間じゃあない！

筆者の生息地は原。向かいにはコココーラの倉庫、回りはモクセイとアラカシの木で覆われ、2年前まではヒヨドリが子育てをしていた。5月の朝、けたたましいヒヨドリの叫びと低空を飛ぶカラスの羽音。そこには巣離れしたヒナを狙うカラスがおり、窓越しに観察していると、ヒナはガラスに当たり脅えてうずくまる。ヒナをつかむと瞬間、“離せ！”とばかりに、親鳥が筆者の左手に止まった。長年野鳥を見てきたが、こんなことは初めての経験だった。ヒヨドリは決して増えて欲しい野鳥とは思わないが、この捨身の親に、野鳥保護運動の一つにカラスの“一人っ子政策”を入れるべきだと思った。この付近でスズメの子も同じ目にあったと聞いた。

今はもうヒヨドリもスズメも巣材を運んだツバメもいない寂しい郊外の風景になった。

◎人の生活に寄り添った野鳥を裏切る

何時だったのかNHKの自然番組で富士山五合目にヒバリが営巣している動画を見た。驚きより思惑が複雑に交差したあと、思いは浮島沼に至った。そこでは30年前ころ“ほ場整備”と

日に決りました。

保護区内に入ると雨が強めに降ってきたので、少し登ったところにある巨木の下で雨宿り。木の下に座って耳を澄ましていると、そこかしこからトリの鳴き声が聞こえてきます。そのうちソウシチョウがすぐ近くに寄ってきて、きれいな姿を披露してくれました。

しばらくすると雨も止んできたので引き上げました。雨の探鳥会も良いもんです。私は整備のために保護区に入ることは多いのですが、普段は急な山を登って登りやすい道を見つけることに精一杯です。保護区にも多くのトリが棲んでいることに改めて気付かされました。

急峻で歩きにくい小鷲頭保護区ですが、皆さんも一度来ませんか。素晴らしい景色を紹

介しますよ。4月25日に沼津アルプス多比口峠付近で、登山者が滑落して県防災ヘリで救助されました。保護区に来るときは万全な装備、とりわけしっかりとした足ごしらえでお願いします。

担当者：加藤 副担当：高嶋

参加者：7名（会員5名・非会員2名）

観察種：コシアカツバメ、トビ、コジュケイ、コゲラ、ツバメ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ウグイス、ガビチョウ、スズメ、カワウ、イソヒヨドリ、ヒヨドリ、キジバト、キビタキ、ホオジロ、アオジ、オオルリ、ヤブサメ、リュウキュウサンショウクイ、ヤマガラ、ソウシチョウ、トラツグミ、ハクセキレイ、ヤマドリ 全25種類

生き物たちの聖域を考える

野鳥は私の道楽仲間にしな

複雑に展開する開発

◎カラスは地球の仲間じゃあない！

筆者の生息地は原。向かいにはコココーラの倉庫、回りはモクセイとアラカシの木で覆われ、2年前まではヒヨドリが子育てをしていた。5月の朝、けたたましいヒヨドリの叫びと低空を飛ぶカラスの羽音。そこには巣離れしたヒナを狙うカラスがおり、窓越しに観察していると、ヒナはガラスに当たり脅えてうずくまる。ヒナをつかむと瞬間、「離せ！」とばかりに、親鳥が筆者の左手に止まった。長年野鳥を見てきたが、こんなことは初めての経験だった。ヒヨドリは決して増えて欲しい野鳥とは思わないが、この捨身の親に、野鳥保護運動の一つにカラスの「一人っ子政策」を入れるべきだと思った。この付近でスズメの子も同じ目にあったと聞いた。

今はもうヒヨドリもスズメも巣材を運んだツバメもいない寂しい郊外の風景になった。

◎人の生活に寄り添った野鳥を裏切る

何時だったのかNHKの自然番組で富士山五合目にヒバリが営巣している動画を見た。驚きより思惑が複雑に交差したあと、思いは浮島沼に至った。そこでは30年前ころ「ほ場整備」と

日に決りました。

保護区内に入ると雨が強めに降ってきたので、少し登ったところにある巨木の下で雨宿り。木の下に座って耳を澄ましていると、そこかしこからトリの鳴き声が聞こえてきます。そのうちソウシチョウがすぐ近くに寄ってきて、きれいな姿を披露してくれました。

しばらくすると雨も止んできたので引き上げました。雨の探鳥会も良いもんです。私は整備のために保護区に入ることは多いのですが、普段は急な山を登って登りやすい道を見つけることに精一杯です。保護区にも多くのトリが棲んでいることに改めて気付かされました。

急峻で歩きにくい小鷲頭保護区ですが、皆さんも一度来ませんか。素晴らしい景色を紹

介しますよ。4月25日に沼津アルプス多比口峠付近で、登山者が滑落して県防災ヘリで救助されました。保護区に来るときは万全な装備、とりわけしっかりとした足ごしらえでお願いします。

担当者：加藤 副担当：高嶋

参加者：7名（会員5名・非会員2名）

観察種：コシアカツバメ、トビ、コジュケイ、コゲラ、ツバメ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ウグイス、ガビチョウ、スズメ、カワウ、イソヒヨドリ、ヒヨドリ、キジバト、キビタキ、ホオジロ、アオジ、オオルリ、ヤブサメ、リュウキュウサンショウクイ、ヤマガラ、ソウシチョウ、トラツグミ、ハクセキレイ、ヤマドリ 全25種類

生き物たちの聖域を考える

野鳥は私の道楽仲間にしな

い 複雑に展開する開発

◎カラスは地球の仲間じゃあない！

筆者の生息地は原。向かいにはコココーラの倉庫、回りはモクセイとアラカシの木で覆われ、2年前まではヒヨドリが子育てをしていた。5月の朝、けたたましいヒヨドリの叫びと低空を飛ぶカラスの羽音。そこには巣離れしたヒナを狙うカラスがおり、窓越しに観察していると、ヒナはガラスに当たり脅えてうずくまる。ヒナをつかむと瞬間、“離せ！”とばかりに、親鳥が筆者の左手に止まった。長年野鳥を見てきたが、こんなことは初めての経験だった。ヒヨドリは決して増えて欲しい野鳥とは思わないが、この捨身の親に、野鳥保護運動の一つにカラスの“一人っ子政策”を入れるべきだと思った。この付近でスズメの子も同じ目にあったと聞いた。

今はもうヒヨドリもスズメも巣材を運んだツバメもいない寂しい郊外の風景になった。

◎人の生活に寄り添った野鳥を裏切る

何時だったのかNHKの自然番組で富士山五合目にヒバリが営巣している動画を見た。驚きより思惑が複雑に交差したあと、思いは浮島沼に至った。そこでは30年前ころ“ほ場整備”と